

平成26年度第2回団体連絡会議事次第

1. 日時：平成26年9月18日（木）14：00～16：00
2. 場所：（一社）日本建材・住宅設備産業協会 A・B 会議室
3. 議題
 - (1) 挨拶

一般社団法人日本建材・住宅設備産業協会 専務理事 富田育男 …………… 14:00～14:15
 - (2) 講演
 - ①「中古戸建て住宅に係る建物評価の改善に向けた指針」について

国土交通省 土地・建設産業局 不動産課 課長補佐 金子佐和子 氏 …………… 14:15～15:00
 - ②「家庭エコ診断制度について」

一般社団法人地球温暖化防止全国ネット 事務局長 川原 博満 様 …………… 15:00～15:45
 - (3) 団体会員配布物のお知らせ …………… 15:45～15:55
 - (4) 建産協からの報告・他 …………… 15:55～

平成26年度 団体連絡会の開催スケジュール

第3回 12月10日（水）

第4回 3月20日（金）

（配布資料）

団連26-2-1	平成26年度第2回団体連絡会議事次第
団連26-2-2	「中古戸建て住宅に係る建物評価の改善に向けた指針」について
団連26-2-3	「家庭エコ診断制度について」

（別紙・別冊）

- ・キッチンスペシャリスト資格試験受験申込書
- ・キッチン空間アイデアコンテスト作品募集案内
公益社団法人 インテリア産業協会
- ・「PVC NEWS No.90」 塩化ビニル環境対策協議会
- ・平成26年度 第23回木質ボード部会シンポジウム 日本繊維板工業会
- ・セミナー案内
 - ①安衛法及び有機則改正等の説明会
 - ②色彩講習会
 - ③静電気事故対策セミナー
 - ④海外 GHS 関連法令の動向 セミナー 一般社団法人 日本塗料工業会
- ・第33回 JAPANTEX2014 公式特別プログラム
世界のトップインテリアデザイナー Sue Timney -英国デザインが世界に与える影響力- パンフレット
株式会社 町田ひろ子アカデミー
- ・「住宅部品点検の日」シンポジウム 一般社団法人 リビングアメニティ協会

平成26年度第2回団体連絡会開催報告



平成 26 年 9 月 18 日(金)、平成 26 年度第 2 回団体連絡会が建産協会議室にて 26 団体等 35 名の出席者のもと開催された。

富田専務理事の主催者挨拶の後、国土交通省 土地・建設産業局不動産課 課長補佐 金子佐和子氏による「中古戸建て住宅に係る建物評価の改善に向けた指針」についての講演、一般社団法人地球温暖化防止全国ネット 事務局長 川原博満氏による「家庭エコ診断制度について」の講演があった。

続いて団体会員からの事業案内の後、建産協からの報告を行った。

講演1：中古戸建て住宅に係る建物評価の改善に向けた指針について



講師：国土交通省 土地・建設産業局不動産課 課長補佐 金子佐和子氏

1. 我が国の中古住宅流通市場の現状
2. 中古戸建て住宅に係る建物評価の改善に向けた指針について
3. 建物評価の改善の定着に向けた取組

中古流通市場の現状として、日本は欧米諸国に比べて、全住宅流通量に占める中古住宅流通の割合が低く、住宅の寿命が短いことが紹介された。また、住宅の市場価値は、戸建住宅の場合は築後 20 年で価値がほぼゼロになり、建物の利用価値があっても評価されないことから、中古住宅市場が活性化しないといった連鎖状況が示された。

今回の指針では、内外装・設備の補修等による使用価値向上を含めた住宅の実態上の価値を適正に反映するために、原価法の運用改善や精緻化の枠組み、減価修正の考え方、中古住宅の個別判断を許容する必要性など、建物評価の改善のあり方についてまとめられたことが説明された。

これら建物評価の改善の定着に向けた取り組みとして、建物評価指針を踏まえ「戸建て住宅価格査定マニュアル」を今年度中に改訂内容を検討し、平成 27 年度中に改訂版をリリースする予定であることが説明された。

講演2：家庭エコ診断制度について



講師：一般社団法人地球温暖化防止全国ネット 事務局長 川原博満氏

1. これまでの背景
2. 家庭エコ診断制度の概要
3. 今後の予定

家庭からの CO₂ の排出量の割合が示され、用途別では照明・家電製品からの排出が最も多く、燃料種別では電気の割合が約半分を占めていること。また、家庭における CO₂ 排出量の増加要因（電気）は、世帯数の増加とテレビやエアコンなどの家電製品の保有台数の増加によることが示され、家庭で発生する CO₂ の排出を抑える必要性を説いた。

家庭エコ診断制度とは、環境省の「うちエコ診断ソフト」を使用する診断の「うちエコ診断」と、環境省が規定する診断手法と運用管理等の要件を満たした「独自の家庭向けエコ診断」からなる。うちエコ診断を行う「うちエコ診断士」は、資格試験制度（環境省公的資格）により認定され、受診家庭に対して住まいの暮らし方について中立的なエコ診断によってアドバイス等を行う。本資格には期限があり更新講習会を受講して更新を行うことが必要と解説され、今後も家庭エコ診断制度の普及に向けて取り組んでいくことが示された。

団体会員からの事業案内



公益社団法人インテリア産業協会 鈴木 実 氏

- ・キッチンスペシャリスト資格試験受験申込案内
- ・キッチン空間アイデアコンテスト作品募集案内



日本繊維板工業会 瀧川充朗氏

- ・平成 26 年度 第 23 回木質ボード部会シンポジウム
「原料を取り巻く最新事情と用途拡大への展望」



一般社団法人日本塗料工業会 若林英樹氏

- ・労働安全衛生法改正及び有機溶剤中毒予防規則改正等の説明会案内
 - ・色彩講習会開催のご案内
 - ・静電気事故対策セミナー案内
 - ・塗料など混合物を中心とした“海外 GHS 関連法令の動向”セミナー
-



一般社団法人リビングアメニティ協会 平野 誠 氏

- ・「住宅部品点検の日」シンポジウム
-

建産協からの報告・他

- ・平成 26 年度団体連絡会の開催予定日
第 3 回 12 月 10 日 (水)
第 4 回 3 月 20 日 (金)

(※建産協ホームページ内の会員専用コーナーより関連資料がご覧いただけます。)